

児童スポーツ教育学部 稲田結美 ゼミ

～自然を科学する & 理科教育を改善する～

ゼミの内容

各自の興味に基づき、自然の事物・現象や身のまわりの疑問を科学的に探究していくゼミです。また、直接的な自然科学研究だけではなく、子どもたちが自然に関心をもてるような理科教育にするにはどうしたらよいかを、学習内容・教材・教師の働きかけなどの多様な観点から考えることもできます。観察や実験をしたり、身近な人にアンケート調査をしたりしながら、自分の疑問を解明していきます。まさに「大学生の自由研究」といった感じです！

【過去の卒業論文のテーマ（一部抜粋）】

- ・遊園地を題材とした理科教育の可能性
- ・小学校における動物飼育の現状と課題—パピーウォーカーの飼育に着目して—
- ・シャンプーの成分が及ぼす髪と頭皮への影響—100%オーガニックシャンプーの製作—
- ・色とイメージの関係性—各教科に対する色イメージに着目して—
- ・学校理科教育に解剖実験は必要か
- ・科学的な視点をはたらかせる子どもの遊び—シャボン玉作り—
- ・漫画を活用した小学校理科授業の提案



ゼミの活動

毎週のゼミでは、各自が調査した内容を発表し、全員でディスカッションをして、さらなる疑問を見出していきます。1人1テーマで研究を進めていくため、ゼミの人数分のテーマに詳しくなって、知らぬ間に多くの知識や考え方が自分の中に蓄積されていきます。

また、毎週のゼミだけでなく、自然豊かな場所や科学関係の施設（博物館・科学館・動物園・水族館・プラネタリウム等）にも出かけ、大学以外で自然や科学とふれあう経験もします。各種スポーツの体験や試合観戦なども、実は科学に結びつけることができますので、ゼミの仲間との交流も兼ねて実施する予定です。

このゼミに入ってほしいのはこんな人

理科が好き!という人はもちろんですが、これまで自然や科学にあまり関心がなかった、あるいは理科は不得意だったという皆さんも大歓迎です。日常生活には科学があふれていますし、スポーツも科学的に捉えると新たな発見がたくさんあります。観察・実験・調査などを通して自分の疑問を解明したいという人にぜひいらしてほしいです。



児童スポーツ教育学部 宇部弘子 ゼミ

～自分の持ち味を活かしてこどもの育ちと学びを支える～

【主な活動】

ゼミでは、基礎的な心理学の講義から発達特性について、心理検査や心理療法など、宇部ゼミならではの知識と経験を積むことができます。そのなかで、心理学の基本知識を身につけ、こころの働きなどを多角的にとらえる姿勢を習得します。

また、こどものこころとからだについても学び、コミュニティーにおける活動として、群馬県草津町の就学支援に参加します。草津 実習では、座学では学ぶことのできない子どもたちの様子を実際に肌で感じる事ができるとても貴重な機会であり、多くのことを学ぶことができます。



【特徴】 体育学部所属のメンバーもいるので、学部の授業とは違う雰囲気を感じられます。

【おすすめ】 実践力を磨きたい人や行政の仕事、特別支援教育に興味のある人にはお勧めです。

【卒業論文のテーマ】

評価が問われる場面における否定的な発言について

外集団からの介入が内集団に与える影響

自己肯定感と承認欲求の関係性について

対人場面のアサーション行動について

LD(学習障害)の就労支援における現状と課題

グレーゾーンの児童生徒に対する支援について

大学生の困り感と関連する ADHD 傾向について

児童スポーツ教育学部 岡本美和子 ゼミ

～子どもと女性の健康について知ろう・理解しよう!～

ゼミの活動

ゼミ1年目は、国内外のリプロダクティブヘルス、子どもや女性の健康問題、LGBTQ、ジェンダー、そして障がい児(者)に関するテーマを選定し学外講師を招待する等してディスカッションおよび理解を深める機会を設定しています。また、学外研修として東京地方裁判所に子どもや女性に関連する裁判を傍聴に行きます。その他、コロナ感染症流行前は世界の離乳食や子どもに関連した祝い菓子を調理室でチャレンジしていました。(今年からは是非再開したいです!)2年目は個々に興味あるテーマについて図書や雑誌等で調べたことをプレゼンテーションする形式を取ると共に、インタビューや質問紙調査等を実施、簡単な統計分析を利用し卒業論文としてまとめることを行います。ゼミは(おおよそ)週に1回、ゼミ日時はゼミ生の皆さんと相談して決定します。



これまでの卒論のテーマ

- ・世界の性教育と日本の性教育の比較検討
- ・児童虐待に関する調査研究の文献レビュー
- ・LGBTなど性的マイノリティーについて
- ・大学生のDVに関する意識調査
- ・自閉症児を持つ母親へのインタビュー
- ・児童期のスポーツと視力との関連
- ・現在の母子関係と母親の理想像
- ・多胎児の育児と子育て支援
- ・ジェンダー意識について
- ・幼少期の偏食と影響要因
- ・ダイエットと女性の健康
- ・女性の就労と子育て
- ・10代の妊娠出産 etc...

このゼミに入ってほしいのはこんな人

子どもや女性の心身の健康について興味を持っている学生の皆さん、大募集です!



2022年度卒業生(13名)の就職先

小学校教諭1名、公務員保育士3名、乳児院1名、私立幼稚園2名、社会福祉法人保育園3名、一般企業3名

～スポーツが持つ多面的な価値を解き明かす～

主な活動

私たちのゼミでは「**スポーツ×社会**」をテーマに、スポーツの社会的な役割やスポーツが持つ課題と可能性について理論を学び、実践的に検討します。

これまでゼミで取り組んだプロジェクトには生涯スポーツの可能性を広げるスポーツイベントの企画・運営・開催（キッズラクロス大会）や地域スポーツの普及・振興プロジェクト（NPO法人やまとスポーツマネジメントと連携した市民会議の開催）、スポーツの価値を問う取り組み「勝たなくたっていいじゃない」（クリングを題材とした地域連携活動の主催）などに取り組んでいます。

プロジェクト型の取り組みを通じて、自らアクションを起こし、実証的にスポーツとは何か？について理解を深めます。



Check !

うちのゼミのここが売り！

スポーツの「？」を持ち寄って、スポーツに問いを立て、みんなで協力しながらスポーツを解き明かしていきます。

また、スポーツ経験が豊かな日体大生だからこそ、異なる視点や角度でスポーツについてディスカッションします。

ゼミではBBQやスポーツイベントも気軽に開催し、ゼミ生間の交流も活発に行っています。



このゼミに入ってほしいのはこんな人！

スポーツをさまざまな角度から考えてみたい人

地域スポーツやスポーツマネジメントに関心がある人

ゼミ活動をエンジョイしたい人

主体性を育みたい人

Welcome to
our seminar!



児童スポーツ教育学部 河田聖良 ゼミ

～乳幼児期の子どもの遊びと生活について保育者や社会の視点から考える～

ゼミの内容

私たちのゼミでは、「乳幼児期の子どもの遊びと生活について保育者や社会の視点から考える」というテーマのもと、保育者の視点をもって乳幼児期の子どもの遊びを計画したり、保育園等に伺って実際にその遊びを実践したりしています。遊びを計画していく過程では、事前に日常の保育内容や子どもたちの姿を保育者に教えていただき、その子どもたちの発達や興味・関心に沿っているか、どのような環境で実施することが適切か、必要なものは何か等、細かい部分からゼミ生同士で相談を重ねていき、実際に自分たちで試しながら遊びを構成していきます。保育園等での実践時にはそれぞれ役割を分担し、子どもの安全に配慮した上で、子どもたちとの関わりを楽しみながら子どもたちと全力で遊びます。安全を確保しながら、子どもたちと一緒に楽しい遊びをどのように工夫していくか、その内容や環境構成、援助の方法を保育現場の実践を通して深めていきます。

ゼミの活動

このゼミでは、保育園等に伺って子どもたちと一緒に遊んだり、保育園等の子どもたちが大学に遊びに来たりなど、子どもたちと関わる機会があります。

また、保育園等の様々なボランティアに参加する機会もあり、実際の保育現場における保育者の姿を知ることができたり、子どもとの関わり方や保育環境を学ぶことができたりなど、より多くの知識と経験を積むことができるので、実習や将来の保育現場にたつ時に生かすことができます。

そして、自分たちが計画した遊びと一緒に楽しんでいる子どもたちの姿、子どもたちの笑顔を目の前で見ることができると、達成感ややりがいも感じられます。

このゼミに入ってほしいのはこんな人

子どもが大好き、保育者になりたいという気持ちをもっていれば、このゼミでの活動を楽しむことができると思います！保育者の視点にたって事前の計画で遊びを考えたり、準備をしたりするのは大変なこともありますが、子どもと全力で遊んで、一緒に楽しんでくれる子どもたちの姿を見ることができた時には大きな達成感とやりがいを感じる事ができ、自然と私たちも笑顔になっていることに気づきます。将来、保育士や幼稚園教諭など保育職に就きたいと考えている人、保育における乳幼児の遊びについて学びたいと考えている人におすすめです！



児童スポーツ教育学部 近藤智靖 ゼミ

～授業・スポーツ指導の基礎を学ぶ～

ゼミの内容

このゼミでは、指導者になるための学びを中心としており、3年生では、児童スポーツ教育学部「児童スポーツ教育論」で学んだ内容をさらに深め、専門的な学習をします。また、持ち回りで模擬授業（保健、道徳、体育実技）を行い、その授業についてディスカッションをします。4年生では、卒業研究に向けて、本や論文を読み、教育やスポーツ関連したテーマの内容をまとめます。また、テーマによっては、学校現場の授業撮影を大学院生と共に実施し、授業の分析を行います。このようにこのゼミは教育やスポーツに関連する内容を中心としているゼミとなります。

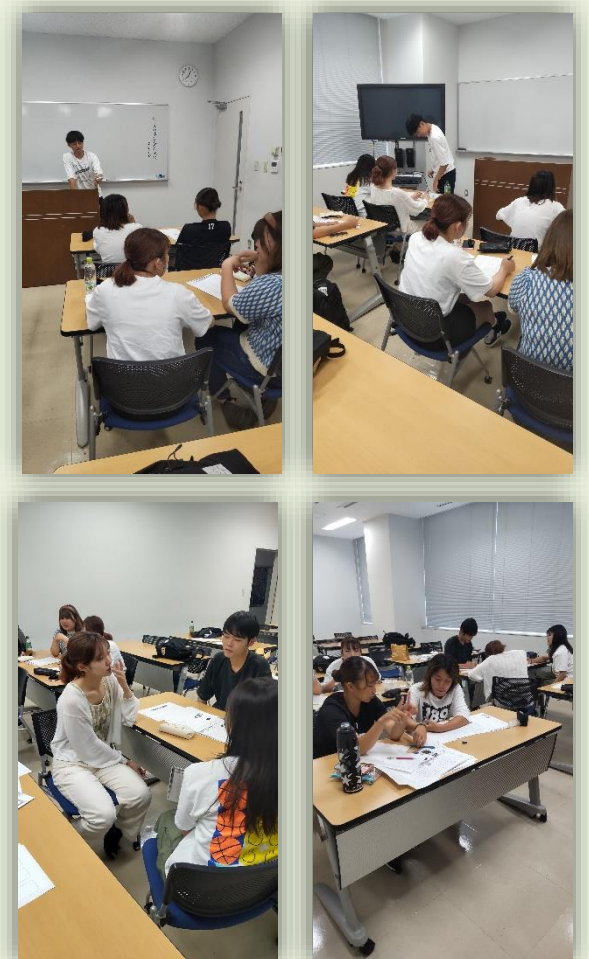
部活動・サークル活動、ボランティアなどの諸活動を考慮しているため、ゼミは平日週1回、1～4時間目までの空き時間で行っています。ゼミの時間は、学生と私との間で調整をして決定します。

【主な卒業論文のテーマ】2021～2022年度

- ・学校体育における二極化と体力・運動能力低下への方策に関する研究
- ・ゴール型授業におけるボール非保持時のパフォーマンスの指導の在り方に関する研究
—小学校5年生のサッカーを対象として—
- ・良い体育授業に関する条件についての研究—教師行動に着目して—
- ・児童生徒の自己有用感を高めるための指導の在り方に関する研究

このゼミに入ってほしいのはこんな人

このゼミに所属する学生は、部活動やサークル活動、学外での諸活動に参加している人も多く、指導者を目指す人が多いです。ただし、3年生になると途中で挫折したり、悩んだりしていくことは当然なので、途中での進路変更も普通のことと捉えています。その意味では、なるべく指導者を目指す方がこのゼミはベターではありますが、将来、何になりたいか迷っている方でも問題はありません。ゼミ生の進路についても、小学校教員が最も多いですが、子ども向けのスポーツ指導をする企業や福祉団体、あるいは一般企業に進む学生もいます。



児童スポーツ教育学部 齊藤多江子 ゼミ

～社会で実現する「共育て」「共育ち」～

ゼミの内容

<ゼミでやっていること>

①研究したいテーマを見つける

3年生は研究したいテーマを見つけることが目標です。興味をもった論文を、ゼミで共有しながら読みます。仲間が選んだ論文にも目を通すことで、興味の幅が広がったり、多様な視点をもつ機会になります。様々な論文を読むことで、研究方法について、具体的に理解することができます。また、ゼミで読むことで、無理なく、学術論文が読めるようになります。

②子どもや保育にかかわるフィールドで学ぶ

幼稚園、保育園、小規模保育、家庭的保育などの保育現場に見学や体験をさせていただいたり、博物館や展示会などに出かけて子どもにかかわる世界に触れることも行うことができます。

<齊藤ゼミはこんなゼミ：3年ゼミ生から>

- 自分が興味をもったテーマについて研究ができるゼミ
- 学生が主体的に学ぶことができるゼミ
- 穏やかな雰囲気の中で柔らかい感じのゼミ
- ゼミ生同士仲良くなりやすいゼミ
- 齊藤先生の子育て話が聞けるゼミ



このゼミに入ってほしいのはこんな人

子ども、子どもを取り巻く大人、その大人を支える社会の制度や仕組みに興味がある人であれば、ゼミ活動に積極的に参加できるのではないかと思います。ぜひ、興味のあること、疑問を感じていることを、自分の視点で、教員や仲間と一緒に探求してみましょう。

児童スポーツ教育学部 佐藤恵 ゼミ

～子どもの福祉に関する様々な問題を知ろう～

ゼミの内容

このゼミでは2年間を通して子どもの福祉に関する様々な問題を知り、問題の要因や対応、課題について理解することを目的としています。例えば、児童虐待に関しては多くの授業の中で触れられる機会があり、多くの学生も虐待についての基本は理解できていることが多いです。しかし、虐待以外にも子どもたちが困っていることや、苦しんでいること、子どもの権利が侵害されるようなことが起きています。授業で触れられる内容はほんの一部でしかありません。そのため、このゼミでは様々な子どもの福祉に関する問題に触れていきます。

その他にゼミ活動を通して行ってみたいところや取り組んでみたいことなど(子どもに関する内容)、ゼミ活動で行いたいことはゼミ生にも考えてもらっています。学生が主体的に学びたいことに取り組むことができるようゼミの中で話し合い、決めていけるようにしています。

【過去の卒業論文のテーマ】

- ・校庭の芝生化事業と児童への影響
- ・異年齢保育における保育環境について
- ・保育士・幼稚園教諭を目指す学生の児童虐待の認識
- ・ごっこ遊びにおける保育者の援助
- ・児童養護施設職員に必要な専門性—直接処遇職員に求められる専門性の検討—
- ・里親制度～日本と海外の比較

ゼミの活動

私の方からメディアや新聞記事で取り上げられるような子どもの福祉に関すること、子どもに関する事件や問題をいくつか提示し、皆さんと映像やディスカッションなどを通して考え・意見を交換し、理解を深めていきます。例えば、「こうのとりのゆりかご」や「少年犯罪」など授業の中で部分的にしか触れることのできない内容等を取り上げています。また、その学びの中で理解したことを活かし、自分の興味関心のあるテーマについて考えていきます。自分が卒業論文を書くことをイメージして論文を調べ、内容について発表し、その研究について意見交換をする機会も設けています。

このゼミに入ってほしいのはこんな人

子どもの身の回りで起きている様々な問題に関して、とくに子どもの福祉に関する問題について興味関心のある人に来てもらえればと思います。興味関心のある学生であればゼミでの学びが現場等でも活かせると思います。どうしたら子どもが安心安全な生活ができるのか、子どもを取り巻く環境や現代社会で起きている問題について学ぶ意欲のある人だとゼミ活動に取り組みやすいと思います。



児童スポーツ教育学部 白旗 和也 ゼミ

～力量のある教師になるためのゼミ～



活動内容

幼稚園から高校までの教員を目指す学生が集まるゼミです。教育のベースとなる学習指導要領の理解に力を入れていて、学生同士の話し合いをメインに活動しています。3,4年生合同でゼミを行っているため、異学年交流も盛んです。これまでの10年間で約100人が教職についています。

広い視野を持てるように教職以外、日体大以外の人たち、OBやOGにもゼミに参加してもらっています。教職や企業で働く先輩以外にもアフリカで働く青年海外協力隊とオンラインでつながったり、他大学のゼミ生と交流したり、教員の研究会に参加したりもしています。また授業の無い時期には教師体験と題して、近隣の小学校や中学校にボランティアに出かけて体験を積んでいます。



募集中

本気で教員を目指す人に入ってもらいたいです。真剣にこれからの教育について考えていくので教員になりたい人には得られるものが多いと思います。子どもが好き、先生に憧れがあるなどどんな理由でも教員を目指している人は大歓迎です。

ゼミの特徴

このゼミは約50人程度が現在在籍し、学年も3,4年生合同ですが学年関係なく仲が良いです。そのほかイベントも多くあります。夏休みには立命館大学の学生と交流会が行われたり、硬式野球部のグラウンドを借りてソフトボール大会を行ったりと学ぶだけでなく楽しく学ぶことができます。また白旗先生の紹介によって、学校での研究会への参加や実際に教員になったOBのお話、教員以外の道を選んだOBのお話、青年海外協力隊についてなど幅広い経験を積めるのがこのゼミのいいところだと思います。

～国語の面白さ、言葉の豊かさに気付く～

「国語は正解が一つではないから教え方がよく分からない」
こんな声を学生の皆さんからよく聞きます。でも、だからこそ面白いって
思いませんか？ 社会人として一番に求められるコミュニケーション力も、
言葉（の豊かさ）と切り離して考えることはできません。

主な活動

基本的に週1回、ゼミを行います。

3年生は、国語や言葉のどのあたりに自分の興味があるのか、どんなと
ころに疑問をもっているのかなどを整理し、自分のペースでじっくり考え
ながら、研究したいテーマを見つけていきます。

4年生は、3年生で整理した自分の疑問等を踏まえて研究テーマを決定
し、様々な本や資料に当たりながら自分なりに答えを探します。その過程
を互いに報告し合い、皆で知恵を出し合いながら研究を進めていきます。

「先生になりたい」「言葉に興味がある」

そんなあなたを待っています！

教師になると「児童生徒は教師の言葉を意外と？よく聞いている」という
ことに気付きます。Twitter、InstagramなどのSNSも、言葉を駆使したや
りとりにも他なりません。言葉を学ぶ教科である国語、言葉について、ぜひ一
緒に考えてみませんか。

小学校における読書指導、説明文教材の開発、SNSにおける言葉遣い
の研究、スポーツ漫画に出現するオノマトペの特徴、ICT端末を使っ
た国語科の授業づくりなど、様々なテーマで研究できます。



毎回、和やかな雰囲気
の中で進めています。



児童スポーツ教育学部 鈴木康介 ゼミ

～運動が苦手な子どもを何とかする!～

主な活動

私たちのゼミでは、”Physical Education for All Children”「運動が苦手な子どもを何とかする!」をテーマに、運動が苦手な子どもでも楽しめるような体育の教材づくり・授業づくりや、運動指導のあり方について、理論的・実践的に学んでいます。

例えば、走る・投げる・跳ぶなどの基礎的な運動能力を楽しみながら向上させるためにはどんな手立てが必要だろうか?ボールをキャッチしたり打ったりするのが苦手な子どもに何かできることはないか?サッカーのゲームで顔を上げられず、ボールの周りに人が集まってお団子状態になってしまう子たちにはどんな用具を使ってどんなゲームをすればいいか?倒立(逆立ち)が苦手な子どもに足の振り上げ方を伝えるためにはどんな工夫と指導の言葉かけをしていけばいいのか?など、体育の授業での子どものつまずきや困り感に寄り添い、解決するための指導法を学んでいきます。

うちのゼミのここが売り!

このゼミでは、実際に子どもたちに遊びや運動の指導を行う機会がたくさんあります。なかでも、岐阜県や東京・三鷹市などで行う、運動が苦手な子どもだけを集めた運動チャレンジ教室が目玉のイベントです。他大学の先生や学生とも一緒に、運動が苦手な子どもの指導を真剣に考え、実践する貴重な経験をすることができます。子どものはじける笑顔にたくさん出会え、指導のやりがいを感じます。



このゼミに入ってほしいのはこんな人!



子どもが大好き!という気持ちと、運動が苦手な子どもに寄り添える優しい心を持った人はぜひこのゼミに入ってほしいです!自分自身が運動が苦手でも大丈夫です。むしろ、運動に苦手意識があると、子どもの気持ちに共感してあげられるので、指導の時に役に立つはずです!小・中学校の先生になりたい、子どもの運動指導に関わる仕事をしたい、大学の外での活動をたくさんしたい人にオススメです!

児童スポーツ教育学部 須永美歌子ゼミ

～最先端のスポーツ科学を学び、現場に活かそう!～

主な活動

須永ゼミでは、運動生理学・トレーニング科学（運動やトレーニングによって体にどのような変化が生じるのか、その現象と仕組みを研究する学問）を専門とした研究に取り組んでいます。

実験から得られたデータを分析し、その結果の意味について考え、友達同士でディスカッションをする。さらに、自分の考えを文章でまとめ、プレゼンテーションによって人に伝える。これらを繰り返し経験することで、専門的な知識だけでなく、社会に出てから必要な多くの能力が身につきます。実験と聞くと難しいイメージがあるかもしれませんが、運動しながら測定を行いますので、和気あいあいとした楽しい雰囲気です。

多用途筋機能評価運動装置による
最大筋力測定の様子➡



卒業研究のテーマ

3年生から様々な測定を経験し、論文を読むことで自分自身で研究テーマを決めていきます。

【過去の卒業研究のテーマ(抜粋)】

- ・カフェイン摂取が最大挙上重量に及ぼす影響
- ・ウォーミングアップの運動強度の違いが無酸素パワーに与える影響
- ・月経周期が高強度インターバルトレーニング後の酸化ストレスおよび抗酸化力に与える影響



呼吸代謝システムによる酸素摂取量測定の様子

このゼミに入ってほしい人

「スポーツ科学」はスポーツをする人だけでなく、アスリートをサポートしたい人やスポーツ観戦が好きな人も楽しく学べる学問です。また、スポーツには子どもや高齢者を対象とした楽しく体力向上をめざす運動もふくまれます。運動にまつわる素朴な疑問を実験研究によって解明したいという気持ちを持っている方に入りたいです。

卒業生の就職先は様々ですが、スポーツ関連の企業や小学校教諭をはじめ、大学院に進学する学生もいます。

須永研究室の情報はコチラから！



須永研究室
Instagram



女性アスリート
競技力向上プロジェクト

児童スポーツ教育学部 田口紘子 ゼミ

～社会科教育研究はもちろん歴史や地理などの研究も!～

ゼミの内容

将来の進路として小学校教員や教育系の大学院進学を考えており、社会科教育に興味がある場合は、社会科教科書や社会科授業の分析を研究とすることができます。また社会科の教材や授業づくりも研究になります。私自身も小学校社会科や中学校社会科歴史的分野の教科書づくりに関わっているため、みなさんと一緒に研究していきたいと思っています。

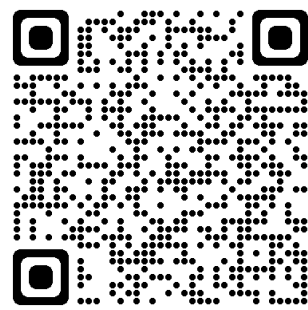


将来の進路として教員以外を考えている場合でも、将来の進路や自分の興味と関係づけて卒業論文テーマを設定できるのもこのゼミの魅力です。例えば警察官志望の場合は交通事故を減らす取り組みについて考察したり、格闘技好きの場合は格闘家の家族史の比較をしたりもできます。

このゼミに向いているのはこんな人

社会科教育だけでなく、歴史、地理、経済や法といった社会にかかわるモノ・ヒト・コトの調査に興味がある方なら大歓迎です。文献やWebページを調査したり、現地調査をしたりするなど自分にあった調査方法で研究していきましょう。ゼミは基本的に週1回90分、輪番で発表してもらい、ディスカッションします。

興味がある人はこちらもチェック!



小学校教員向けの
Web記事



日本体育大学
教員紹介ページ

児童スポーツ教育学部 中島龍一ゼミ

～音楽(ジャンル問わず)や音楽教育に関する研究を楽しく行うゼミです!～

ゼミの内容

【中島ゼミ(通称Dragonゼミについて)】

音楽好きであり、探究心がある学生が集まっています!和気あいあいの雰囲気の中、様々な音楽について語り合い、アンサンブルを経験し、自分の研究テーマを見出していきます。

実施内容

3年生:前期は自分の一推しの音楽のプレゼンと質疑応答。これは人前で話すことやアピールの方法、質問への答え方等非常に勉強になります。後期は楽器を使ったアンサンブルを予定しています。昨年まではハンドベル(1人4本持ち!)、ミュージックパイプ(写真参照)、打楽器やピアノ、歌で一つの楽曲を創り上げたりしています。

4年生:自分の研究したいテーマに沿って論文執筆!

過去の論文タイトル

- ・乳幼児に聴かせたい曲の特徴と共通性の考察
- ・映画「名探偵コナン」におけるメインテーマ曲の分析と考察
- ・JPOPにおける恋愛ソングの歌詞に着目した研究～男女間の視線の相違についての考察～
- ・RPGゲーム『UNDERTALE』のBGMの研究 ～メロディーのフレーズに隠されたキャラクターイメージに焦点を当てた考察～
- ・手作りオルゴールの音色と響きの研究 ～金属オルゴールとオルガニートの比較考察～
- ・映画音楽におけるBGM効果についての研究 ～スタジオジブリ作品を題材として～
- ・子どもと運動と音楽の関係性についての研究
- ・日本の子どもの歌と海外の子どもの歌の比較考察
- ・小学校生活における音の手立て
- ・アラン・メンケンの研究ーディズニー音楽を題材にしてー
- ・体操教室におけるBGMの使用が子どもの意欲向上に与える影響についての研究

このゼミに入ってほしいのはこんな人

音楽が好きで、真面目に取り組む姿勢のある学生なら誰でも大歓迎!



ミュージックパイプ演習の様子(モグラ叩きのようなゲーム感覚で、音感訓練にもなります)

～子どもの表現に気づき、子どもの世界に出あう～

主な活動

私たちのゼミでは、乳幼児の表現や造形的な遊びを支える環境づくりと保育者の援助のあり方について、理論的・実践的に学び、表現力や感受性と論理的思考力を高めることを目標としています。

主に、さまざまな造形遊びや表現活動を実際に体験したり、子どもや保育に関連するトピックについてディスカッションしたり、一人で読むには少々難しい文献を協力して講読したりしています。ゼミ生の興味関心に応じて、時には美術館などの施設見学も行います。

これらの活動を通じて、卒業研究では、各々が興味や意欲をもって取り組めるテーマを自ら決めて探求していきます。

活動の一例紹介



6月の暑いある日、“触感”をテーマとして小麦粉、片栗粉、寒天を用いた粘土遊び・感触遊びを体験しました。

中でも、よく冷えた寒天の手触りの心地良さに大きな歓声が上がります。つるり、ぷんぷりん、ぐにやり等々、触り方によって異なる寒天の感触を存分に味わいます。その後は寒天の特性に誘われて、水の中に寒天を落としたり、混ぜたり、光を当ててみたり…、様々な発見を共有しながら楽しみました。

そして、子どもたちならどんな遊びをするだろうか？保育で実践する場合の配慮点は？など、子どもの視点と保育者の視点の両方から考え合いました。

このような方を歓迎します！

- 乳幼児の造形遊びや、保育現場での表現活動に関心がある人（造形以外も大歓迎）
- 子どもの表現をより深く理解したいと思っている人
- 描いたり作ったり、歌ったり踊ったりすることが好きな人、そうしたものを見たり聴いたりすることが好きな人
- 活動の準備や片付けも含め、他者と協力して楽しみながらできる人
- ゼミの中で、お互いを尊重しながら積極的に学び合う意欲のある人



児童スポーツ教育学部 東野裕子 ゼミ

～ いつでもどこでもおもしろ英語!を追求するゼミ ～

誤った英語と捉えるのではなく、適切な英語の使い方を考えることが大切!

「ゆうこは、いつも車で学校へ行く」を英語にするとどうなるでしょうか。

“Yuko usually goes to school **with her car.**”

と言うと、次のような絵のようになります。



「車を散歩に連れて行く」といった意味が伝わります!

ここで言いたかった表現は、

「by + 乗り物 (train, bike) など」を使って、

“Yuko usually goes to school **by car.**” ですね。

前置詞が違えば異なった意味が伝わってしまいます。

では、Do you like **orange**? と Do you like **oranges**? は、それぞれ、どのように伝わるとおもいますか。

単数か複数? 意味の違いはあまりないと思うかもしれませんが、

“Do you like **orange**?” と単数形で尋ねる場合には、Aのようにオレンジ色のことを、“Do you like **oranges**?” と複数形で尋ねる場合は、みかんのことを指します。”s”をつけるかつかないかの違いで意味が異なります。このように伝わり方のおもしろさについて考えます。

A: Do you like orange?



B: Do you like oranges?



小学校英語について

私立や公立小学校の授業を参観して、どのような授業をしているのが児童のために良いかを考えたり、いかなる教材を使うと学習効果があるかなどを話し合い、実際に教材を作ったりします。



私立小学校授業風景



公立小学校授業風景



先輩が作った教材

英語や英語教育に興味のある人
集まれ!

児童スポーツ教育学部 村田翔吾 ゼミ

～子どもたちが算数を楽しく学べる授業づくりについて考える!～

ゼミの内容

私たちのゼミでは、「子どもたちが算数を楽しく学べる授業づくりについて考える!」をテーマに、算数科教育の教材・授業づくりや、算数科のカリキュラムについて、理論的・実践的に学んでいます。また、算数・数学を用いて身の回りの疑問を解決する活動や、統計を用いてスポーツデータを分析する活動にも取り組んでいます。算数という教科は答えがはっきりしているため、正しい答えが出せるかどうかのみに焦点が当てられがちですが、本来は答えが出せるかどうかよりも、その答えを出そうとする過程(process)がとても重要です。思考過程に焦点を当てることで、結果の正誤に関わらず、教室にいる全員が算数を楽しく学べる授業のあり方について一緒に考えていきましょう。

【過去の卒業論文のテーマ(一部抜粋)】

- ・小学校算数科における数学的モデル化教材に関する研究の動向
- ・小学校第5学年の学年暦(特に学校行事)からの算数の問題づくり
- ・算数科授業におけるタブレットと紙ノートの併用方法について
- ・実際のデータを使用した「データの活用」領域の授業づくり



ゼミの活動

このゼミは少人数であることを生かした手厚い指導が行われています。普段のゼミでは、学生が自分で考案した教材や教育実習での授業実践についての発表を行い、その内容について学生・教員で議論をします。小学校教員を目指している学生が多く、お互いの近況について随時報告をしながら、目標に向かって高め合っていくことができます。

算数は論理的・抽象的な教科と言われますが、その論理性は感覚的・具体的な操作によって支えられています。例えば、「1mとはどのくらいの長さか」を示す際には、両腕を広げた長さや自分の歩幅などを基準にすることが有効です。このように算数においても自分の身体や具体的な模型を使うことは重要であり、そのような指導法についても体験・考察することができます。算数のゼミではありますが、算数×体育や算数×国語など、教科横断的な教材・授業づくりについても考察することが可能です。

このゼミに入ってほしいのはこんな人

小学校の先生になりたい人、教育関係の仕事に就きたい人、身の回りの事象の算数・数学的な問題解決を体験してみたい人を特に歓迎します。算数に対する興味・関心さえあれば、これまで算数・数学が苦手であっても全く問題ありません。学校の先生は、塾の先生が得意とする「算数をわかりやすく教えること」が仕事ではありません。むしろ子どもたちと同じ目線になって、算数の問題に取り組める人の方が教員には向いています。

このゼミは、2022年度から始まったゼミであるため、現状では学内・学外イベント等は多くありません。裏を返せば、皆さんと村田ゼミをつくっていくことになりますので、

「こういう企画をやりたい!」という提案があれば、積極的に取り入れていきたいと思えます。算数に少しでも関心のある人は、ぜひ村田ゼミに足を運んでみてください!



児童スポーツ教育学部 若尾良徳 ゼミ

～心理学を学んで子ども理解を深めよう～

ゼミのテーマ

このゼミは、心理学，特に「発達心理学，社会心理学」という分野のゼミです。心理学とは、人の行動（動きや言葉、何かに対する回答など）から人の心を理解しようとする学問です。人に関するあらゆることがテーマになります。

発達心理学のテーマの例

- 愛着の発達。
- 他人の心を理解するのはいつ頃から？
- 友人関係はどのように発達するの？
- 大学生の職業選択になにが影響するの？

社会心理学のテーマの例

- 魅力的な人ってどんな人？
- 血液型による性格の違い？
- テレビやSNSからどんな影響を受けるの？
- どこからが浮気なの？

主な活動

- 文献，映像などから，様々な心理学の知識を学びます。
- 演習を通して，心理学の研究方法（実験や観察、質問紙、インタビューなど）考え方を身に付けます。
- 希望に応じて，教育・保育現場，施設の見学，体験なども行います。

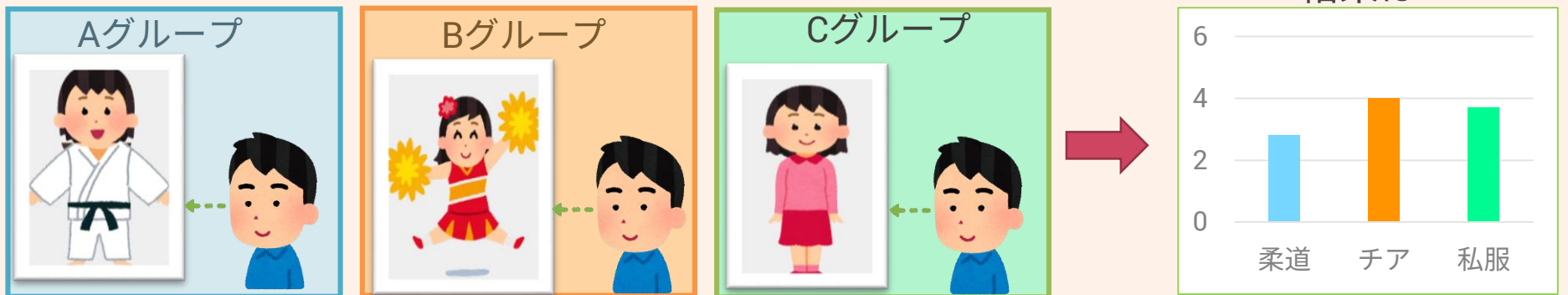
心理学の実験ってなに？

人の心の働きを実験を通して確かめる方法もあります。

たとえば，昨年ゼミでは，どんなユニフォームを来ていると魅力的に見えるかを実験しました。

同じ女性に，柔道着，チアリーディングのユニフォーム，私服を着てもらって写真を撮って，3つのグループの男性に魅力を評価してもらいました。

結果は...



このゼミに入ってほしいのはこんな人

知識だけでなく，問題を捉える力，考える力を身に付けたいと考えている人にこのゼミに入ってほしいです。また，教育，保育に限らず，人間や社会について考えてみたいという人も考えです。心理学は，身近な問題から人に関する本質的な問いまで，人が関わるあらゆることが対象になります。

心理学を楽しく学びましょう。



← 教員紹介

ゼミのアピールポイント

心理学の考え方を学ぶことで，様々な場面で問題を分析する力を身に付けることができます。

児童スポーツ教育学部と体育学部の学生と一緒に学んでいます。

懇親会など，いろいろなイベントもやっています。

